

欧州マーケットビュー



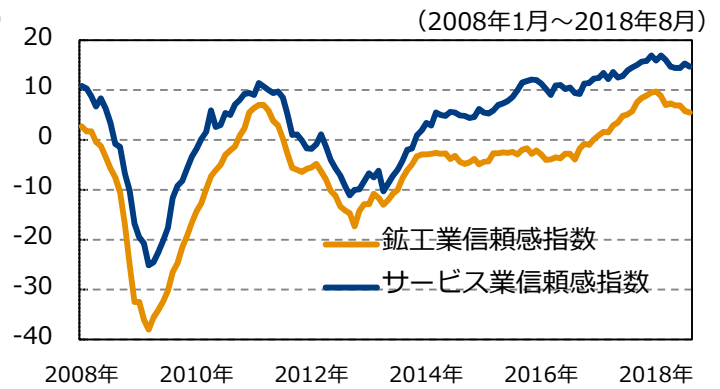
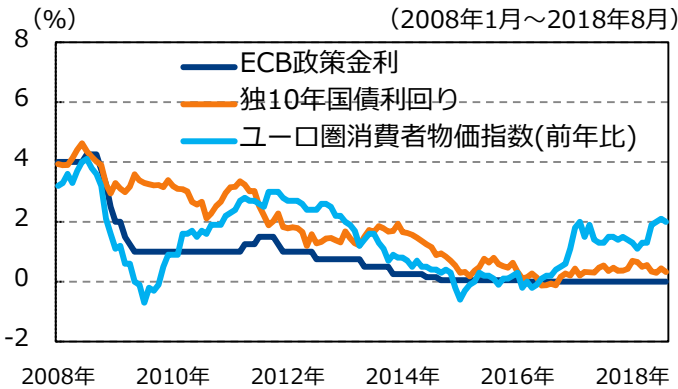
- 国際通貨基金（IMF）はユーロ圏経済見通し（実質GDP成長率）を、2018年は0.2%、2019年は0.1%下方修正しました。2018年4-6月期はドイツの経済活動が堅調だったものの、イタリア、スペインは減速しました。
- 今後のリスク要因としては、引き続きイタリア、スペインなどの政治不安や、米国との貿易摩擦の拡大があげられます。

金利とインフレ率

ユーロ圏の消費者物価指数（前年比）は原油価格の上昇から2018年8月は+2.0%と前月から鈍化しました。長期金利は安定しています。

企業景況感

鉱工業信頼感指数、サービス業信頼感指数ともにプラス圏での推移が続いています。足元ではやや軟化が続いています。

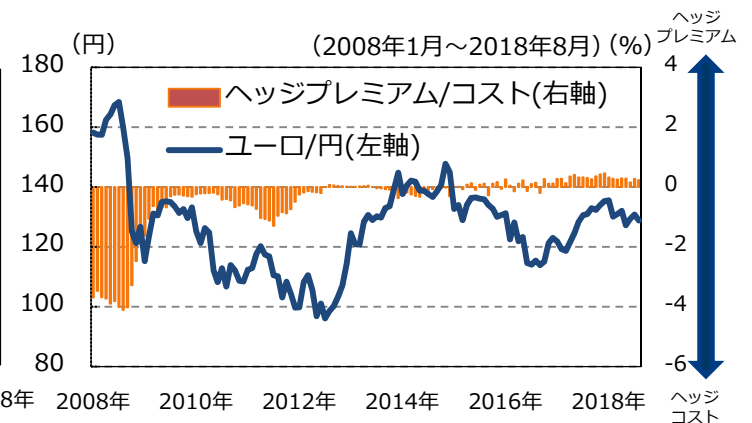
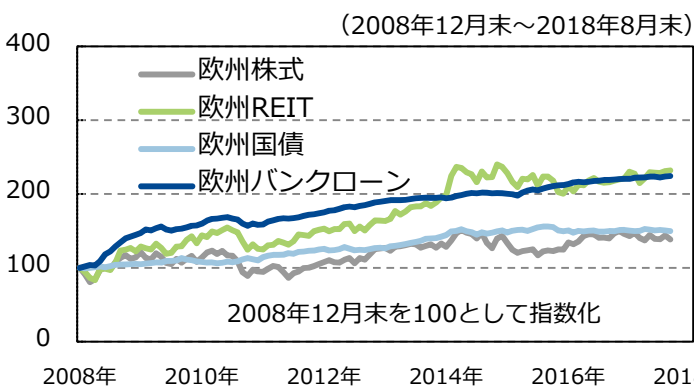


欧州各資産の推移

2008年12月末からの欧州各資産の推移をみると、欧州バンクローンの安定した推移が確認できます。

ユーロ/円及びヘッジプレミアム/コスト

足元でユーロより日本円の金利が高い状況が続いており、ユーロ円はヘッジプレミアムが生じています。（2018年8月：0.23%）



各種データをもとに大和住銀投信投資顧問作成

※為替ヘッジプレミアム/コストは直物為替レートと期日1ヶ月後の為替予約レートとの価格差（月間平均値）から簡便法により算出

※使用したインデックス
 欧州株式：ユーロストック50指数、欧州REIT：FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Index、欧州国債：FTSE欧州国債インデックス、欧州バンクローン：クレディ・スイス・ウェスタン・ヨーロッパ・レバレッジド・ローン・インデックス

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。